

Parti

パーティ

講座・イベント れぽ~と	5
相談ルームから	9
情報ライブラリーから(本の紹介)	10
2020年度前期講座案内	11
インフォメーション	12
✦ おすすめシネマ	10

特集

令和元年東日本台風(台風19号)と支援活動
…2



パーティとは？

“参加・参画”を意味する Participacion (スペイン語) から引用された、とちぎ男女共同参画センターの愛称です。

2019年10月の令和元年東日本台風(台風19号)は、東日本を中心に甚大な被害をもたらしました。本県も24市町で避難勧告が発令され、多くの方が避難する事となりました。本県の被害状況(2020年2月6日県発表)は、死者が4名、全壊84棟、半壊および一部損壊13,519棟等、県内各地で悲惨な爪痕を残しました。そのような中、少しでも被災者の力になりたいと奔走した方たちの支援活動を追いました。

No image

画像はありません

佐野市田島町東(下野新聞社提供)



募金活動をする「JWCさの」のみなさん

いけどありがとう」とお言葉をいただきました。ひとときわ目立つ日本女性会議の黄色いジャンパーを着た理由を「活動は微々たるものだけでも皆さんを明るく出来たら」と橋本さんは語りました。募金はすべて義援金として佐野市に寄託しました。

台風の翌日、橋本さんは佐野市内の状況を見て回りが先だと思いつきに気持ち切り替えました。台風直後は自身も女性団体から提供された古タオルやせっけんなどを市役所に届けたりしていましたが、「JWCさのとして佐野のために何かしたい」という思いが募りました。その後「JWCさの」の立ち上げメンバーで話し合い、募金活動することを思いました。10月27日から約1か月間の土日祝日に道の駅で募金活動を行ったところ、思った以上に反響がありました。親子で募金をする方が多く、「がんばってね」などと声をかけられました。中には被災された方から「協力はできないけどありがとう」とお言葉

佐野市



日本女性会議中止決定後、募金活動開始
JWCさの代表 橋本 喜美子 さん

橋本さんは日本女性会議を佐野市に誘致したJWCさの(Japan Women's Conference in Sano)の代表です。しかし台風の影響で4年半の準備期間を費やし、10月25日から開催予定だった日本女性会議は中止となりました。

浸水被害に遭った高齢者を支援

JWCさのメンバー 永島 典子 さん

「JWCさの」のメンバーで被災地のボランティア活動もする永島さんにもお話を伺いました。

永島さんは住み慣れた町の変わりように心を痛め、すぐに同じ町内で困っている高齢者宅の支援を始めました。その方々は1階に泥が入り込み住める状態ではなく市営住宅に移ることにしましたが、車が運転できないため永島さんが代わりに車で市役所へ赴き手続きを行いました。引越しも町内会の方々と一緒に手伝いました。ところがなかなか荷物の整理が進みません。「何十年も暮らした家には大事なものがたくさんあつてすぐには片付けられないのです」と永島さんは語ります。そこで永島さんは「ゆっくりやりましょうね」とじっくり思い出を聞きながら、時間をかけて様々な不安を抱えている高齢者に寄り添いました。

取材をした日に永島さんとボランティア仲間が支援していたお宅は、日本女性会議での協力をお願いしていた方のお宅でした。こちらでも永島さんたちは被災者のお話を聞きながら庭の泥かき等の支援をしていました。



被災者宅で泥かきをする「JWCさの」のメンバー

「普段から力をお借りしている方々に私も何かしたいと思いましたが、当たり前になり繰り返される毎日に大切なものがたくさんあること、人と人がつながり合い、助け合うと小さな力が大きなものになることも実感しました」と語る永島さん。佐野市の社会福祉協議会から約10名のボランティアの方々も来ていました。男性が多い中で「力仕事はできなくても女性にもできることがある」と永島さんたちは支援を続けました。



栃木市

子育て世代の被災者に寄り添う

TOCHICCO日和 編集長 松本 真由美 さん

松本さんは栃木市に移り住んできたママたちに栃木市を好きになってもらいたいとフリーペーパー「TOCHICCO日和」を2015年から発刊しています。今回の台風で自宅は床下浸水、車3台が水没しました。さらに松本さんは3人の子育て中。「番下のお子さんは取材当時まだ1歳でした。しかしご本人はあまり大変さを感じていないそうです。「身近にもっと大変な人がたくさんいるから、その人たちのためにできることをします」と松本さんは語ります。

松本さんの支援は多岐にわたります。今回の災害で車が水没した子育て家庭のためにベビーカーやチャイルドシートをSNSで募り個別に届けました。女性団体から提供された生理用ナプキンも配りました。また、11月9日には復興イベント「いわふねマルシェ」を開催。被災後気分が塞ぎがちだった地域に子育て世代が思い切り楽しめる場を提供し、ボランティアの啓発活動も目的の一つとしました。11月17日にはボランティアのママ達と炊き出しも行い、炊き出し横に子ども服等を無償提供するコーナーを設置しました。普段から「TOCHICCO日和」主催のリサイクル市を月1回開催したり、子育てサロンを運営したりと子育て世代を応援する活動をしている松本さんは、そのフットワークの軽さで、子育て世代の被災者に寄り添いました。



いわふねマルシェの様子



炊き出し横の子ども服無償提供コーナー

避難所取材メモ

2019年11月上旬、栃木市の栃木中央小学校避難所（体育館）を取材しました。この日は14世帯、22名、40〜80歳代の方が避難していました。多くの方が2015年の関東・東北豪雨でも被災し、今回が2度目の浸水ということでした。「リフォームしたばかりなのに、また家電やボイラー、家族の遺品など大切な思い出も水に浸かった。もう涙も枯れ果てた」と疲れ切った表情で語ります。家の片付け・床下の泥出し・乾燥・消毒が済むまで、あるいは次に住む家が決まるまで、避難所暮らしが続きます。

避難所は市職員の方が2名ずつ、3交替24時間体制で運営されています。この避難所には早い段階から間仕切り、ダンボールベッドが導入され、布団も寄付されました。ダンボールの更衣室も設置されていました。食事は出し弁当ですが、高血圧の方に配慮し、減塩・低カロリー弁当も用意され、レンジで温めて食べます。毎夕、保健師が巡回し、血圧測定や健康状態の聞き取りをしてくれます。

ボランティアによる温かい食事の炊き出しや、衣料品の寄付、整体師の方のマッサージ等、様々な支援が避難者の方を支えました。（栃木市の避難所は12月21日に閉鎖されました）



ダンボールベッドと間仕切りを導入



保健師が健康状態をゆっくりと聞き取る



温かい料理を通して、様々なニーズに寄り添う

NP法人リスマイリー 代表理事 山口 真由美さん
 (公財)とちぎYMCA 総主事 塩澤 達俊 さん

普段は、山口さんは訪問型病児保育を、塩澤さんはYMCAの業務を担い、とちぎボランティアネットワーク(とちぎVネット)の貧困解消プロジェクトで協働しています。

お2人は10月13日の朝、田川沿い千波地区の友人宅を見舞い、泥まみれの変わり果てた地域を目の当たりにします。友人宅の駐車場を拠点とし、13日からSNSでボランティアを集め、泥かきや浸水した家財の運び出しを始めました。スコップ、ごみ袋、古タオル等の物資を集め、拠点で配布。13日の夕食から炊き出しも開始しました。毎日50人近くのボランティアが活動。千波・東埼玉地区は単身高齢者が多く、有志の皆さんが1軒ずつ訪問しながらニーズを伺い、失意の被災者に寄り添いました。17日からは、大規模な炊き出しを開始。様々な団体等と共に毎日200食を提供しました。「台所が浸水して料理ができない・車が水没して買い物が無理」「床下の泥出しのために床板をはがした。寒くて凍える」と心身共に疲労困憊の被災者に温かい料理を提供しながら、様々なニーズを聞き取ります。食事を取りに来られないお宅には料理を届けて安否を確認します。被災直後の泥出しや片付け・ボランティアセンターへの依頼・罹災証明の申請等の支援・子ども遊び場開催から、長期的な心のケアへと支援の形は変わっていきます。お2人をはじめ、たくさんの方のボランティアの力が被災者に寄り添います。



山口さん(左)と塩澤さん(右)



被災地域で子どもたちの遊び場を開催(とちぎYMCA)



支援の気持ちをこめて握ります



おにぎりと共に励ましの声をかける小林さん(右端)

子育て中でも、できることから支援を開始

笑顔おむすび隊 発起人 小林かぐみさん

小林さんは、田川沿いの友人が浸水したことをSNSで知り、片付けに必要な古タオルを届けました。しかし1歳と7歳のお子さんを抱えて、泥出しの手伝いは出来ず「何か力になりたい」という思いが募りました。田川沿いでの炊き出しを山口真由美さんから知り、「ママたちでおむすびを届けよう!」とSNSで呼びかけました。

賛同する女性がSNS上で数日間で100人以上集まりました。10月下旬、市民センターに子連れの女性が約20人集まり、おにぎり150人分、350個を握りました。10升以上のお米や様々な具材(梅干し、わかめふりかけ、昆布等)、ラップ等もママ達からの寄付です。衛生に気を付けながら、2時間ほどで完成。高齢者の方のためのやさらかにおにぎりも作成。冷めないうちに炊き出し場所に届け、被災者の方に声をかけながら手渡しました。「子育て中でも2時間なら手伝える」「食材なら寄付できる」等、「少しでも被災者のお役に立ちたい」という声ママ達からあがっています。おむすびを通して、応援の気持ちや役立つ支援情報を伝えていきたいです」と語ります。長期に渡り、おむすびやみそ汁等を提供しながら被災者に寄り添いました。

「つながろう 笑顔で、つなげよう 未来へ。」 フェスタinパーティ2019を開催しました

11月16日「つながろう 笑顔で、つなげよう 未来へ。」をテーマに、フェスタinパーティ2019を開催しました。

誰もが安心して暮らせる男女共同参画社会の実現を目指して、パーティを拠点に県内で元気に活動する61の団体・グループが日頃の活動の成果を発表しました。

男女共同参画を考える発表や展示、親子で一緒に楽しめる体験コーナー、様々な手作り品の販売やパフォーマンスの発表、県内で女性の活躍推進に取り組む企業の紹介のほか、災害時に子どもを守る知恵を伝える「防災マカフェ」の開催や、ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、フードバンク活動団体を通じて食べ物に困っている方々に提供するフードドライブなど、多彩な企画が盛り込まれました。

子どもから大人までさまざまな世代が交流を深め、元気と笑顔があふれるフェスタとなりました。



子どもたちのチアリーディング
【Team evolve BECOME FRIENDLY】



様々な手作り品の販売



「男女共同参画社会基本法 20年をむかえて!」【ゆう企画】

男女生き生き地域活動表彰・活動報告

9月



▲受賞者



▲活動報告の様子

- 【男女生き生き地域活動表彰 優秀賞受賞事例】
- ・腹話術（寺内 政子さん）
 - ・働く女性の学びと交流の場づくり（にじいろ会）
 - ・産前・産後の母親支援（マドレ栃木OG会）

地域において男女共同参画社会の推進に貢献する優れた取組を表彰する「男女生き生き地域活動表彰」は、9月5日に表彰式が行われ、次の3事例が優秀賞として表彰されました。

また、9月28日には、「男女共同参画地域推進員スキルアップ講座」において、宇都宮大学地域デザイン科学部の石井大朗准教授にコーディネートしていただき、活動を始めたきっかけや取組の効果、活動後の心境の変化などについてそれぞれ報告していただきました。報告後は参加者を交えて「私のしている活動・これからしてみたい活動」と題し、ワールドカフェ形式で話し合いを行い、大変有意義な時間を過ごすことができました。

参加者からは、「自分の活動に活かそうと思った」「自分でも気づかなかった意識に気づくことができた」との感想がありました。

夢を引き寄せる! ドリームマップ講座

9月

『ドリームマップ』は、自分の夢ややりたい姿を描き、人生を豊かにするためのツールです。節目節目に自分が何をしたいか、どうありたいか、じっくり考え、写真等を用いて自分の未来を可視化します。明確になったビジョンが具体的な行動を自然と促します。

9月7日に開催したドリームマップ講座ではまず、講義やグループワークを通じて、自分の好きなことや強みを知ります。そして、『夢をえがく4つの視点』を参考に自分もまわりもしあわせな未来を想像していきます。他の参加者の異なる視点に触れ、思い込みの枠が徐々に外れて、発想が自由に広がっていきました。最後に、作成した「自分が主役」のドリームマップを全員で伝え、お互いの夢を応援し合って終了しました。

受講者からは、「自分と向き合う時間が持て、参加した皆さんと夢をシェアすることができ、とても有意義な時間だった」「ネガティブではなくポジティブな未来の夢を描くことで、とても前向きな気持ちになれた」などの感想が寄せられました。



▲お互いの夢を応援!



▲(一社)ドリームマップ普及協会 認定ドリームマップファシリテーター 川村 紀子 氏

男女共同参画セミナー公開講座2019

ジェンダーはビジネスの新教養～メディアが発するジェンダー問題を考えよう～

9月

9月26日、宇都宮大学を会場に、「ジェンダーはビジネスの新教養～メディアが発するジェンダー問題を考えよう」と題して講演会を開催しました。

ジェンダーとは「社会的な性差」を意味し、その規範は、私たちの日常生活や職業生活に深く浸透しており、言動や意思決定に影響を与えています。

講演では、テレビ、インターネットCM等のメディアが発信した場合、発信側にも悪意がなくても受け手側が不快感や差別を感じ取れば社会的に許容されず、広範囲から批判を受け、企業イメージが悪化し、製品ブランドも傷つけてしまうことなどについて説明していただきました。

また、チームに女性がいるだけでは問題の回避は難しく、様々な属性の人が自由意見を言える組織をつくるのが、企業の発信の質を上げるとお話しされました。

参加者からは「ジェンダーを考える視点が理解できた」「CMを多角的に見ることができ、問題意識を持つきっかけとなった」と感想が寄せられました。



▲講師の話に聞き入る受講者たち



▲東京大学大学院情報学環客員研究員・ジャーナリスト 治部 れんげ 氏

とちぎ女性活躍応援フォーラム2019

12月



▲表彰式



▲基調講演

- 「男女生き生き企業」 優秀賞
- ・グランディハウス株式会社
- ・東京オート株式会社
- ・社会福祉法人美明会

12月13日、女性の活躍や働き方改革の推進を目的として、「とちぎ女性活躍応援フォーラム2019」が開催されました。女性活躍や働き方の見直し等に関する優れた取組を行う「男女生き生き企業」表彰式では、知事から優秀賞受賞企業3社へ表彰状を授与し、受賞企業は、それぞれの取組について事例発表を行いました。また、県内企業等に向け、「とちぎ女性活躍推進学生会議」による提言発表を行いました。

さらに基調講演では、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)執行役員の矢島洋子氏を講師に迎え、企業の現状等を踏まえながら、ダイバーシティ推進の視点でみた女性活躍推進の課題や必要な取組を分かりやすくお話しいただきました。

参加者からは「大変勉強になった」「自身のキャリア形成の観点からも参考になった」との感想が寄せられました。

とちぎ女性活躍推進学生会議 提言発表

12月



帝京大学「男性の育休等選択利用義務、トップの子育て応援コミットメント」



宇都宮大学「個別ノー残業デー設定、社内外の学びの場、社内意見交換の場」



宇都宮文星短期大学「若い世代と経営者層とのギャップについて、『新入社員の憂い』動画作成」

県内3大学の学生により構成する「とちぎ女性活躍推進学生会議」では、学生が女性活躍推進や働き方見直しの取組が進んでいる先進企業を訪問して聞き取り調査を行いました。その結果を踏まえて、女性が活躍しやすい企業、誰もが働きやすい企業になるための提言を取りまとめ、上記フォーラムにおいて発表しました。

提言を受けて参加企業からは、「現状と課題、提案したいことがよく表現できていた」「若い世代がここまで調査研究していることに感動」「動画が非常に良い」等の感想が寄せられました。

(提言内容の詳細はパルティホームページでご覧になれます)

女性への暴力を考える講演会

生きることのリアル～身近にある性暴力被害を知る～



12月

12月21日、「13歳、「私」をなくした私性暴力と生きることのリアル」の著者である山本潤氏を講師に迎え、女性への暴力を考える講演会を開催しました。

講演では、栃木県の性犯罪件数をはじめとした性暴力被害の実態や性暴力被害後の精神的後遺症、回復するための適切な支援などについてお話しいただきました。また、昨年3月に4件相次いだ性犯罪無罪判決を受けて、性暴力の被害実態に即した刑法改正を求める取組や各地で開催されている抗議デモ（フラワーデモ）についても言及され、それを受けて、私たちの身近で起きている社会問題に一人ひとりが関心を持つこと、市民の声の高まりが社会を変えるために重要であることを学びました。

最後に「身近な人が性被害に遭ったとき、寄り添って話を聴ける大人になってほしい」「性被害に遭った場合は、自分を責めず大事にしてほしい」と受講者に呼びかけ、締めくくられました。

性暴力サバイバーであり、支援者でもある山本氏のお話は説得力があり、受講者からは、「被害者でもある山本さんの現在の言葉で救われました」との感想が寄せられました。

※サバイバー…生存者、逆境に負けない人



▲やさしく語りかける講師



▲一般社団法人Spring代表理事 山本 潤 氏

生涯を通じた女性の健康を考える講座

～いつまでも私らしく!女性の心と体のメンテナンス～

2月

人生100年時代と言われる今日、心身ともに健康で素敵な生き方のヒントを学ぶことを目的に「生涯を通じた女性の健康を考える講座」を2月1日に開催しました。

ウェルネスライフとは、「心とからだと生き方を整えて、自分らしく、よりイキイキと人生を楽しめること」であり、加倉井先生からは、そうなるよう女性の心と体の変化を理解し、ライフスタイルの見直しと実践のポイント、そして自分ならではの「幸せ」を考え、大切にすることなどを分かりやすくお話いただきました。

受講者からは、「身体と心に自分ができることがたくさんあることに気づきました。日常を大切に、今後の人生を幸せに健やかに生活するためにできることを自分に問いかけて実践していこうと思いました。」との感想が寄せられました。



▲株式会社ウェルネスライフサポート 代表取締役 加倉井 さおり 氏



男性のワーク・ライフ・バランス講座

～とってもかんたん『時短料理』～

11月

11月30日、宇都宮文星短期大学を会場に「男性のワーク・ライフ・バランス講座」を開催しました。サラダチキンを使ったじゃがいものミルフィーユグラタンや親子丼など、簡単でおいしい時短料理の作り方や段取りの他、男性も料理などの家事に参画し、仕事と家庭をバランス良く両立していくことが重要であることを実習を通して学びました。

藤生先生からは、「この講座を受講してこれをやってみよう!と心に残ったことを続けて欲しい」と締めくくられました。

受講生からは、「これからは、自ら積極的に料理をして家族に喜んでもらいたいと思います」といった感想が寄せられました。



▲宇都宮文星短期大学教授 藤生 恵子 氏



こんにちは
相談ルームです。



「程よい距離を考える」

あなたには、日常的に感じるストレスがありますか。

もし身近な人間関係がストレスだと感じるなら、あなたとその相手との距離が程よい距離ではないのかもしれませんが。

例えば、家族との距離はどうでしょう。家族といえども侵入してはいけない領域が存在しています。あなたが家族に対して「こんなにしてやっているの。」という思いが浮かんだら、一方的なお節介をしていないか、何らかの見返りを期待していないか、自分の気持ちを外から眺めて見てはいかがでしょうか。

例えば、職場の同僚やママ友など、社会の中で関わらなくてはいけない人達との距離はどうでしょう。距離が近づき過ぎると、大事な人とても関係がこじれてしまう事があります。適度な距離を保ちつつ接することが出来れば、相手の意見が自分の意見とは異なるものだったとしても、そういう考え方もあると受け流すことができるで

しょう。相手の事を尊重しつつ、自分を守る付き合い方があるはずですよ。

あなたと家族、友人、同僚など、様々な人間関係の中で、今より少しでも心地よいと感じられる相手との距離を見つけられるといいですね。

あなたが、周りの人達との距離に迷ったり、相手を傷つけてしまったり、反対に傷つけられてしまったと感じた時は、当センターの相談ルームを思い出してください。一緒にあなたの「程よい距離」を探しましょう。

いつでもあなたのお電話をお待ちしています。

お問い合わせ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

◆女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

◆配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時

土曜日・日曜日 9時～16時

面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

◆法律相談(面接)

毎月第2・第4木曜日

13時30分～15時30分(予約制)

◆DV法律相談(面接)

日時はお問い合わせください(予約制)

◆女性のための健康相談(面接)

毎月 第1木曜日

16時30分～18時30分(予約制)

◆男性のための電話相談

毎週 月曜日・水曜日

17時30分～19時30分

☎028-6655-8720
☎028-6655-8724

不妊専門相談センターから

「プレコンセプションケア」

「プレコンセプションケア」という言葉をご存知でしょうか？

これは「女性やパートナーが、妊娠前から将来の妊娠に向けた健康管理をする」ことを言います。

健康な妊娠・出産や子どもへの健康のためには、妊娠前からの準備が大切です。例えば肥満ややせ、喫煙、感染症等は不妊につながることもあります。妊娠しても流産、早産、低出生体重、先天性疾患等のリスクが高まることもわかっていきます。

日常生活の改善を急に行うことは難しく、疾患の予防も常日頃から気を付ける必要がありますから「まだまだ妊娠は考えていない」と思っている方も、今から準備をしていくことが重要です。これは男性も女性も同じです。最近ではプレコンセプションケアを行っている医療機関もあり、生活習慣病や感染症、がん検診などの検査結果を踏まえ、医師や栄養士が支援を行っているところもあります。

一方、自分たちで行っていいこと

には次のようなものがあります。

- ・規則的な生活習慣と良質な睡眠
- ・適度な運動
- ・食生活の見直しと適正体重の維持
- ・喫煙や飲酒の習慣の見直し
- ・ストレスの少ない生活
- ・感染症の予防やワクチン接種

健康診断やがん検診を受ける
プレコンセプションケアは、生活を改善し、個々の健康にもつながっていくものです。将来の妊娠と健康のために、プレコンセプションケアに目を向けてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

●助産師による相談

火曜日～土曜日・第4日曜日

10時～12時30分、13時30分～16時

●医師による相談(毎月1回)

詳細はお問い合わせください。

専用電話：028-6655-8099

Eメール相談：

tunin.fuku-soudan@air.ocn.ne.jp

(メールアドレスが変更になりました)

ホームページ：

<http://www.parti.jp/tunin/>



パーティの情報ライブラリーから 本の紹介



パーティには約22,000冊の図書があり、貸出ししています。ホームページからも検索・予約ができます。ぜひご利用ください。

歴史を変えた 50人の女性アスリートたち

レイチェル・イグナトフスキー【著】 野中 モモ【訳】
(創元社)

「女は弱い!」としめ出されていた近代スポーツ界に飛びこみ、圧倒的な能力と粘り強さで記録と歴史を塗り替えてきた女性アスリート50人にスポットを当て、その驚くべき成績やバイタリティあふれる人生をイラストで紹介します。



みんなちがって、それでいい —パラ陸上から私が教わったこと

重本 沙絵【監修】 宮崎 恵理【著】
(ポプラ社)

健常者に負けまいと努力してきた重本選手が、パラ陸上に会ってたどり着いた、「本当の意味で障がいを受け入れる」ことの意味とは。リオパラリンピック、ロンドン世界大会陸上女子で銅メダルを獲得した重本沙絵選手の活動の記録と、思い描く未来を語る、感動のノンフィクションです。



人見絹枝 オリンピック・パラリンピックにつくした人びと

大野 益弘【文】 しちみ楼【絵】
(小峰書店)

日本初の女性オリンピック選手であり、初の女性メダリストでもある人見絹枝さんの伝記です。
まだ女性が気軽にスポーツを楽しむことができなかった時代に、不屈の精神で新時代を切り開いていった女性アスリートの生涯を描きます。



女の子だって、野球はできる! —「好き」を続ける女性たち

長谷川 晶一【著】
(ポプラ社)

日本の女子野球のレベルは、世界一!でも、日本で女の子が野球を続けるには、乗り越えなければいけない、大きな壁があります。「野球が好き」という気持ちを胸に、壁に立ち向かい、道を切りひらいてきた人たちが支える、「世界一の女子野球チーム」のこれまでとこれからを描いた一冊です。



おすすめシネマ

情報ライブラリー所蔵の映画や、女性監督作品、話題の映画等を紹介합니다。

「ナディアの誓い—On Her Shoulders」 2018 アメリカ

イラク北部でISIS (イスラム国) による虐殺と性奴隷から逃れ、人々の希望となった23歳のナディア・ムラド (2018年ノーベル平和賞受賞者) に密着した感涙のドキュメンタリー。
少し前までは、どこにでもいるような普通の女の子だったナディアの夢は、自分の村で美容室を開くことだった。普通の生活に戻る日を待ち望みながらも、故郷を奪い、家族も殺したISISの虐殺を止め、まだ捕らえられている同胞や、世界中の性暴力被害者のため、彼女は表舞台に立ち続けることを決意する。そして彼女は痛ましい体験を、苦しみながらも繰り返してジャーナリスト、政治家、そして外交官に訴え続けた。カメラは冷静に数々の困難に辛抱強く立ち向かっていくナディアに密着し、ギリシャの難民キャンプや国連本部でのスピーチまでを追っていく。そして、彼女の揺るぎない決意を浮き彫りにしていく。



「ナディアの誓い—On Her Shoulders」
配給元: ユナイテッドピープル

※(C)RYOT Films

(DVD発売中)

2020年度 前期講座のご案内

✿一時保育(満6ヶ月～未就学児)あり✿

対象講座はこのマーク!



※4月2日(木)より受付スタート。詳細は必ずホームページまたは講座案内でご確認ください。

NO.1～NO.6 お申込み・お問い合わせは→		栃木県とちぎ男女共同参画センター TEL: 028-665-8323 FAX: 028-665-8325						
NO.	講座名	講師	日時	対象	定員	参加費	申込締切	その他
1	県民講座 「オール1の落ちこぼれ、 教師から主夫になる」	元高校教諭・主夫 宮本 延春	5/16(土) 13:30～15:00	どなたでも	150名	無料	5/15(金)	
2	とちぎ県民のつどい 「めざそう!女性の参画で切り拓く未来」	上智大学法学部教授 三浦 まり	6/20(土) 13:00～15:00	どなたでも	300名	無料	先着順	手話通訳が つきます
3	とちぎウーマン 応援塾	詳細はHPにて	①7/4(土)②8/1(土) ③8/22(土)④9/12(土) ⑤9/16(水)⑥10/3(土) ⑦10/31(土)	地域活動・社会 活動に参画する 意欲のある女性	20名程度	無料	6/12(金)	⑤は自由参加
4	男女共同参画地域推進員 スキルアップ講座	詳細はHPにて	①7/15(水)②8/26(水) ③10/17(土)	男女共同参画に 興味のある方	各回 30名程度	無料	①7/11(土) ②8/22(土) ③10/10(土)	1講座だけの 受講もできます
5	キャリア・ マネジメント講座	詳細はHPにて	①7/3(金)②7/17(金) ③8/21(金)④9月中旬 ⑤10/9(金)⑥11/12(木)	企業等で活躍が 期待される女性	30名程度	5,000円	6/12(金)	
6	公開講座2020 「ジェンダーがつながる 科学技術イノベーション」	国立研究開発法人科学 技術振興機構 副理事 渡辺 美代子	9/16(水) 13:00～15:00	どなたでも	150名	無料	先着順	会場は 宇都宮大学
7	助産師による相談会 お申込みは不妊相談センターまで 028-665-8099	不妊専門相談センター 相談員	①6/13(土)②9/27(日) ③12/17(木)④2/20(土) 13:30～15:30	不妊に関連した 悩みをもつ方 及びご家族	各回 10名程度	無料	各回前日	詳細は 講座案内 又はHPにて

NO.8～NO.18 お申込み・お問い合わせは→		(公財)とちぎ男女共同参画財団 TEL: 028-665-7706 FAX: 028-665-7722						
NO.	講座名	講師	日時	対象	定員	参加費	申込締切	その他
8	女性のための こころのケア講座	認定NPO法人ウイメンズハウス とちぎ カウンセラー 藤平 裕子	6/11(木)～ 1/28(木) 10:00～12:00	女性	各回 15名	各回 500円	各回前日	
9	パーティ 防災フォーラム ～みんなにやさしい避難所づくり～	NPO法人イコールネット仙台 代表理事 宗片 恵美子	8/21(金) 10:00～15:00	防災に 関心のある方	40名	無料	7/21(火)	
10	イクメン応援講座	①認定NPO法人マドレポニータ 産後セルフケアインストラクター 吉田 紫磨子 ②アンガーマネジメントコ ンサルタント 山本 果奈 ③株式会社ビストロパパ 代表取締役 滝村 雅晴	①7/18(土) ②8/22(土) ③9/26(土) ④⑤10:00～ 12:00 ⑥10:00～13:00	①②子育て中・出産を 予定しているカップル、 子育て支援者等 ③父子またはパパのみ (子は年長～小4く らいまで)	①②30名 ③10組 20名	無料	①6/23(火) ②7/28(火) ③9/1(火)	③のみ 別途材料費
11	マドレポニータの 「産後の心と体の セルフケア」6月コース	認定NPO法人マドレポニータ 産後セルフケアインストラクター 小嶋 千恵	①6/18(木) ②6/25(木) 10:00～12:00	産後2ヶ月以降 の女性(産後は 何年までも)	14名	2,000円	5/19(火)	
12	マドレポニータの 「産後の心と体の セルフケア」10月コース	認定NPO法人マドレポニータ 産後セルフケアインストラクター 小嶋 千恵	①10/1(木) ②10/8(木) 10:00～12:00	産後2ヶ月以降 の女性(産後は 何年までも)	14名	2,000円	9/1(火)	
13	女性と子どものための護身術 ～WEN-DO～ 親子のための護身術	リアライズYOKOHAMA代表 橋本 明子	8/29(土) 10:00～12:00	小学校1～3年生 の児童と女性の 保護者	10組 20名	小人500円 大人1,000円	7/29(水)	
14	女性と子どものための護身術 ～WEN-DO～ 女性のための護身術	リアライズYOKOHAMA代表 橋本 明子	8/29(土) 13:30～15:30	小学校4年生 以上の女性	20名	小・中・高 500円 大人 1,000円	7/29(水)	
15	女性のためのファイナン シャル・プランニング 技能検定3級 試験準備講座	栃木県ファイナンシャル・ プランナーズ共同組合	5/22(金)～ 8/28(金) 10:00～12:00	女性	30名	14,000円	5/7(木)	別途教材費 5,000円程度
16	エクセル・ワード 基礎編 平日コース(初級)	パソコンインストラクター	6/9(火)～6/19(金) 10:00～12:00	マウス操作と文字 入力可能な方	20名	7,000円	5/12(火)	別途教材費 税込2,200円
17	エクセル・ワード 基礎編 土曜コース(初級)	パソコンインストラクター	6/27(土)7/4(土) 7/11(土) 10:00～15:00	マウス操作と文字 入力可能な方	20名	7,000円	6/2(火)	別途教材費 税込2,200円
18	エクセル ステップアップ(中級)	パソコンインストラクター	10/31(土) 11/7(土) 10:00～15:00	基礎編修了者、またはエクセル の基本(四則演算、SUM関数 など)を理解している方	20名	5,000円	10/6(火)	別途教材費 税込1,100円



電話、FAX、ホームページ、直接のご来館でも受け付けております。

上記は講座内容の抜粋です。詳しい講座内容については、パーティ・公共機関で配布している「講座案内(A3サイズ)」や各講座チラシでご確認ください(ホームページでもご覧になれます)。

<http://www.parti.jp/>

パーティ 検索

男女共同参画社会を考える“とちぎ県民のつどい”
6月20日(土) 10:00~15:00
パーティ とちぎ男女共同参画センター ホール

【第1部】男女共同参画に関する地域活動発表 10:00~11:30

【第2部】式典・講演会 13:00~15:00

テーマ：めざそう！女性の参画で切り拓く未来

講師：上智大学法学部教授 三浦 まり 氏

●お申込み・お問合せ

栃木県女性団体連絡協議会 事務局

TEL・FAX 028-665-7710

電話対応は火・木10:00~16:00

とちぎ男女共同参画センター

TEL 028-665-8323

火曜日~土曜日9:00~17:00

(国民の祝日を除く)

※詳細はホームページでご確認ください。



「輝くとちぎのオトナ女子 TOCHIGI WOMAN 20」を作成しました。

県では、この度、女性活躍の更なる機運醸成を図るため、様々な分野でいきいきと活躍されている県内の女性20人を紹介する冊子「輝くとちぎのオトナ女子 TOCHIGI WOMAN 20」を作成しました。

自分らしい生き方・働き方を見つけてキラキラと輝いている女性たちのお話から、多くの方が自身の今後の活躍に向けたヒントをつかみ、なりたい自分に近づくための一歩を踏み出すきっかけづくりとなることを目的としています。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

www.pref.tochigi.lg.jp/c07/houdou/houdou/2019otonajyoshi.htm



発行：栃木県県民生活部

人権・青少年男女参画課

電話 028-623-3074

企画展「私たちは『買われた』展」を開催します。



彼女たちが性を売るのは、「遊ぶ金欲しさ」？
それとも「快樂のため」？

少女たち一人ひとりの背景と思いに迫るパネル展「私たちは『買われた』展」を、この秋栃木県で開催します。

日 時：令和2年9月26日(土) 10:00~17:00

会 場：宇都宮市文化会館 第一展示室

チケット：前売りのみ1,300円 高校生以下無料

主 催：認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ

企 画：一般社団法人Colabo

お問い合わせ：認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ

電話028-621-9993

※チケット販売は8月以降 <https://uimens.jimdofree.com/>

《募金ご協力への御礼とご報告》

フェスタinパーティ2019で実施いたしました「台風19号復旧支援募金」におきましては、皆様から5,553円をお預かりいたしました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。この支援金は栃木県災害義援金（栃木県災害対策本部）に募金させていただきますのでお知らせ申し上げます。

今後も被災地の一日も早い復旧を、心より祈念いたします。

《フードドライブご協力への御礼》

フェスタinパーティ2019フードドライブにおきまして、皆様から103kgを超える食品の寄付をいただきました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。集まった食品については、回収に協力いただきましたフードバンク宇都宮（認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク）に寄付させていただきました。



パーティ とちぎ男女共同参画センター

開館時間／9：00～21：00（日曜日は17：00まで）

休館日／毎週月曜日

国民の祝日

12月29日～1月3日

施設のご利用／会議・イベント等にご利用ください。（有料）

利用お申込み／窓口受付時間9：00～17：00

ホームページで各研修室等の予約状況をご覧ください。

（閲覧のみ）

情報誌のご意見・ご感想をお寄せください

編集・発行／公益財団法人とちぎ男女共同参画財団

〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1

TEL.028-665-7700(代) FAX.028-665-7722

※おかけ間違いのないよう、お願いします。

URL／<http://www.parti.jp/>

表紙作者／よしこSUŪ

印刷／株式会社井上総合印刷

